

第4回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和元年7月24日（水） 午後2時00分

2. 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次 長 酒井 宏

課 長 小林 康弘

課 長 森本 康幸

課 長 尾松 直樹

課 長 前中 斉

課 長 柏戸 隆弘

課 長 村上 由樹

館 長 樋口 裕昭

館 長 小林 純一

所 長 齋藤 昭

所 長 酒井 直隆

課 長 谷掛 昭二

課 長 中筋 有香

課長補佐 大路 和浩

指導主事 大野 圭一

係 長 田中 真紀子

主 事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

午後 2時00分

7. 会 期

（自）令和元年7月24日

（至）令和元年7月24日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

酒井 委員

9. 閉 会

午後 6時10分

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>前川教育長 全委員 前川教育長</p> | <p>日程第1、前回定例会議録の報告・承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第2、会議録署名委員は1番垣内委員とする。</p> <p>日程第3、会期は令和元年7月24日、本日1日間とする。</p> <p>日程第4、議案に移る。議案第1号の「令和2年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」学事課説明を求める。</p> |
| <p>森本課長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>市民の75名が中央図書館での展示会に来観されたとのことだが、例年と比較して多いのか。</p> |
| <p>森本課長</p> | <p>昨年は77名の来観者であった。さらに多くの方に関心を持っていただけるよう周知方法を再検討したい。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>教員で展示会に来観した数は把握しているか。また、来観する場合のサービスはどのような扱いとなっているのか。</p> |
| <p>大路課長補佐</p> | <p>教員は14名参加している。メール等で周知しているが、次回以降別の案内方法を検討したい。また、記名せずに展示している教科書を手にとって見ている来観者が多くみられ、多数の方が興味、関心を持たれているように感じた。</p> |
| <p>尾松課長</p> | <p>サービスについては、校長判断に委ねている。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>全教員数を教えてほしい。</p> |
| <p>酒井次長</p> | <p>356人である。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>展示会に多くの教員が来観したとは言えない。教員が使いやすい教科書であることは採択する基準の一つであると考えられる。サービスを統一するなどし、来観しやすい環境を整えて、教員が教科書採択に意識がいくようにしてほしい。</p> |
| <p>森本課長</p> | <p>採択された教科書が丹波篠山市の学力の現状や状況に応じたものかという議論はされたか。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>協議会の中でそのような議論はされていない。</p> |
| <p>森本課長</p> | <p>学力状況調査の結果が丹波地区は芳しくないといふ県知事が発言している。使用する教科書を変えることで、学力が向上することも考えられるのではないか。そのような論議は、採択協議会の中でされたのか。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>そのような論議はされていない。算数に関しては、過去3年間、同じ出版社の教科書が採択されている。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>学力向上のために思い切って教科書会社を変更するといった議論がされて</p> |

| | |
|--------|---|
| 尾松課長 | <p>も良いと思う。今後、採択する際には、丹波篠山市の学力状況に応じており、丹波篠山市が目指す教育に対応した教科書を選ぶような議論をしてほしい。</p> <p>今回、協議会の中で最優先されたのが、新学習指導要領に対応しているかという点であった。今回採択された教科書は、新学習指導要領の方向性に対応し、「対話的、主体的な能力」が身に着くと考えられる教科書が採択されたと考える。</p> |
| 酒井委員 | <p>これまで教育の先進地を視察しているが、どの教科書を使用していたか調査はしているか。</p> |
| 尾松課長 | <p>秋田県大館市については、国語が光村図書出版、算数が東京書籍を使用していた。</p> |
| 酒井委員 | <p>先進地は様々な工夫をしていると思うので、参考にしてほしい。</p> |
| 井上委員 | <p>継続して同じ教科書会社の教科書を採択されることにより、教員は教材研究をより進めやすくなると思う。ユニバーサルデザイン等も考慮された非常に良い教科書が採択されたと思う。</p> |
| 酒井委員 | <p>同じ教科書を使用することで教材研究が進めやすくなることも理解できるが、教材研究は児童・生徒に身につけさせたい力について、教員自らが工夫して進めるものである。「新しい学力」を身につけさせるために、教員も発想が硬直化しないようにしていかなければならない。</p> |
| 垣内委員 | <p>図書館での展示時に来観者からいただいた提案の中で、実現できないものはあるか。</p> |
| 森本課長 | <p>実現が可能なものは、学校だよりを通じた教科書展示会の周知である。図書館での教科書貸出は現在調整中である。老人施設等への貸出についても調整、検討中である。</p> |
| 垣内委員 | <p>図書館での貸出等は、市民の興味、関心に繋がると思うので是非検討してほしい。</p> |
| 前川教育長 | <p>国としての基準は踏まえつつ、丹波地域の実情、学力状況に応じた教科書を採択するという視点を持つことについて、共同設置である丹波市とも情報共有していきたい。</p> |
| 酒井委員 | <p>採択過程も公開してほしい。また点数化するなどし、決定に至った具体的な要因を可能な範囲で教えてほしい。</p> |
| 井上委員 | <p>丹波地区は複式学級等の独特の課題があり、複合的に考えると一概に点数化することは難しいのではないか。</p> |
| 酒井委員 | <p>課題等も含めて点数化すると客観的に採択された理由が分かりやすくなるため、検討してほしい。</p> |
| 大路課長補佐 | <p>調査報告に詳細まで記載はされていないが、各教科で調査委員長から口頭で、採択に至るまでの経緯説明や判断についての説明がされていた。</p> |
| 前川教育長 | <p>議案第1号の「令和2年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」異議はないか。</p> |
| 全委員 | <p>異議なし。</p> |
| 前川教育長 | <p>全員賛成で、議案第1号の「令和2年度使用義務教育諸学校用教科用図書</p> |

| | |
|-------|---|
| | の採択について」を可決する。 |
| 前川教育長 | 議案第2号「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」こども未来課説明を求める。 |
| 前中課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 井上委員 | 議案中の「指定都市の長」とはなにか。 |
| 前中課長 | 指定都市とは、政令で指定する50万人以上の市を指す。兵庫県では神戸市を指す。そのため、神戸市が実施する研修会も対象となる。 |
| 酒井委員 | 改正の趣旨を教えてください。 |
| 前中課長 | 改正の趣旨は、参考資料P,2の改正の趣旨及び内容に記載されているとおりである。 |
| 前川教育長 | 議案第2号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、議案第2号の「丹波篠山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」を可決する。 |
| 前川教育長 | 議案第3号「丹波篠山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」こども未来課説明を求める。 |
| 前中課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 垣内委員 | 丹波篠山市で希望している事業所はあるのか。 |
| 前中課長 | 不確実な情報ではあるが、検討をしている事業所があると聞いたことがある。具体的な内容については不明である。 |
| 前川教育長 | 議案第3号の「丹波篠山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、議案第3号の「丹波篠山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」を可決する。 |
| 前川教育長 | 議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」中央図書館 |

| | |
|-------|---|
| | 説明を求める。 |
| 樋口館長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 酒井委員 | 昨年はどうな諮問がされたのか。 |
| 樋口館長 | 昨年は諮問がなかった。年間2回の会議を実施しており、主な活動として、第1回目は、前年度の事業報告と当該年度の事業計画について意見交換し、第2回目は、次年度の計画予定の作成と運営についての意見交換がされた。 |
| 酒井委員 | 利用者数や貸出数の減少が課題とされているが、課題についての分析や対策、丹波篠山市の図書館運営に関する諮問、答申をする予定はないのか。 |
| 樋口館長 | 諮問、答申について今のところ予定はない。諮問、答申ではないが、これまでから協議会内で課題に関して議論し、その内容を事業や取り組みに反映している。 |
| 酒井委員 | 委員の年齢制限はあるのか。若年層の意見を取り入れる工夫をしてほしい。 |
| 小林課長 | 市では年齢要件が決まっていないが、今回の公募では18歳以上という年齢要件を設定している。 |
| 前川教育長 | 議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」を可決する。 |
| 前川教育長 | 日程第5、協議事項に移る。協議第1号「平成30年度教育委員会の点検・評価について」教育総務課説明を求める。 |
| 小林課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 中村委員 | P.9のスクールブリッジについて、充実を図ってほしい。 P.12のALTの活用について、例えば、給食や休み時間などでも活用し、少しでも多く英会話の機会を創出してほしい。 P.13の幼児のうたまつりについて、毎年工夫をされているが、いろいろなジャンルの検討もしてほしい。 P.14の市立幼稚園の預かり保育について、在住地域に関わらず条件を整える必要があるように感じた。 P.17の夏休み中の預かり施設の建て替えについて、計画についてどの程度進んでいるのか詳細が分かれば教えてほしい。 P.19の確かな学力について、全国学力状況調査の分析、取り組みの公開が各学校においてばらつきがある。市全体で情報発信に努めてほしい。 P.21の部活動支援員について、制度を知らない保護者が多すぎるので、制度についての情報発信をしてほしい。また、教員と指導員にとって有益とな |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>前川教育長 酒井委員</p> | <p>る制度の仕組みを検討してほしい。</p> <p>P. 26 のコミュニティスクールについて、校長が方向性を示し、生徒、保護者、地域が良い関係で活動ができていると思う。</p> <p>P. 28 の教員の資質向上について、教員が生徒に対し、自己肯定感を高める対応を丁寧にしており、保護者の学校へ協力する意識が高まっている。</p> <p>P. 29 のインターネット利用について、深夜までインターネットを利用していることによる体調不良が児童、生徒の間で発生しているため、保護者への啓発を重ねて続けてほしい。</p> <p>P. 30 の市内高校との連携について、オープンハイスクールの参加割合が気になる。</p> <p>P. 38 の化石の保護・活用について、少し盛り下がっているように感じる。イベントの啓発について期待をする。</p> <p>P. 39 のあいさつの実践について、小学生のあいさつができていないように感じる。逆に中学生は、非常に元気のよいあいさつができています。</p> <p>いただいた意見を事務局で確認し、反映できるように検討を行う。</p> <p>全体を通して、【実績と成果】で根拠がないように感じる表記がある。特に P. 10 の「環境体験事業・自然学校の充実」、P. 42 「学校給食の充実と地産地消の推進」で根拠がなく記載しているように受け取れる部分がある。具体例を示す等根拠に基づいて表記すると分かりやすい。</p> <p>また、P. 19 の学力向上プロジェクト事業について、「4つの力や授業スタンダードの周知に取り組んできたが、定着に至っていない」との記載がある。なぜ、定着しなかったのかを考えていかなければならないように感じる。</p> |
| <p>前川教育長 垣内委員</p> | <p>成果の指標として客観的に理解しやすいものが数値であるが、教育の場合数値だけで推し量れないものがある。評価に至った基準を整理するとともに文書表現についても事務局にて協議、検討をする。</p> <p>P. 59 以降に記載されている各施策の関連資料が非常に分かりやすい。</p> <p>ただ、教育長の発言のとおり、教育では数値で推し量れないものがあると思うので、関連資料にその旨を記載しておく必要もあると感じた。</p> <p>人口が減少しているので、入館者数や参加者数が減少することは致し方ない。減少が見込まれることや許容できる数値などを記載しておくことで読み手に理解を得やすいと思うので検討してほしい。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>P. 10 のトライやる・ウィークについて、「地域にとっても有益な活動である」が73%となっている。地域にとってトライやる・ウィークに対する考え方が変わってきているのではないか。事業所との関係性についても今後考えていく必要があるのではないか。</p> <p>P. 30 の保幼小中高大の連携について、現状大学との連携がないが、記載は保幼小中高大の連携となっているので記載の変更が必要ではないか。</p> <p>学区再編による影響が本当に極めて少ないといえるのか疑問に感じる。</p> <p>P. 42 の学校給食での地元産品目使用率については、重量ベースでの記載が望ましいと考える。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>谷掛課長 前川教育長</p> | <p>P. 77 の高齢者大学受講者に関する表において誤記があるように思うので訂正を依頼する。</p> <p>P. 24 に防犯カメラに関する記載があるが、通学路に防犯カメラを設置することも今後必要になってくるかと思うので、検討してほしい。</p> <p>P. 77 の高齢者大学受講者に関する表について修正する。</p> <p>意見を反映できるよう事務局にて検討していく。</p> <p>協議事項第 1 号「平成 3 0 年度教育委員会の点検・評価について」を終了する。</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>日程第 6、報告事項に移る。報告 1「寄附採納について」教育総務課説明を求める。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>報告 2「後援名義の承認について」教育総務課説明を求める。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>前川喜平氏の講演について、不承認の理由として政治活動が挙げられているが前川喜平氏はどのような活動を行っているのか。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>前川喜平氏の活動に対する不承認ではなく、実行員会及びその構成団体から不承認の判断をしている。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>どのような構成団体であるのか。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>ひょうご夜間中学を広げる会、丹波・篠山自主夜間中学、ひょうご丹波・憲法を生かす会、平和憲法を守る丹波地区連絡会、兵庫県職員労働組合丹有支部、丹波市 9 条の会連絡会、その他趣旨に賛同する団体・個人で構成すると記載があり、今後増える可能性もある。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>全ての構成団体や、前川喜平氏が不承認に該当するということではなく、構成団体の一部が不承認に該当したという判断で間違いはないか。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>その通りである。</p> |
| <p>森本・前中課長</p> | <p>報告 3「平成 3 0 年度収納状況について」学事課、こども未来課説明を求める。</p> <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>中村委員</p> | <p>こども園のバス使用料について、支払いが滞る場合はバスの乗車を拒否するという厳しい対応を検討されてはどうか。</p> |
| <p>前中課長</p> | <p>検討する。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>支払いが滞る世帯は、児童手当からの充当も可能であると思うが、それで</p> |

| | |
|--------------|--|
| 前中課長 | も支払いができないということは、どのような原因が考えられるのか。 学校給食費なども滞納しており児童手当では足りず、支払いがさらに滞るという状況にある。滞納している方それぞれに様々な状況であるので、すべての徴収をするのは難しい状況である。 |
| 垣内委員 | 一世帯当たりの滞納額は、どの程度か。分納支払いなどは対応しているのか。 |
| 森本課長 | 学校給食費では、約150名が滞納をしている。最高滞納額は約70万円で、中には数百円という方もいる。分納対応もしており、高額滞納者については、法務専門員名での督促も行っている現状である。 |
| 井上委員 森本課長 | 延滞金は発生するのか。 発生しない。 |
| 前川教育長 | 報告4「第40回丹波篠山ABCマラソンについて」社会教育課説明を求める。 |
| 柏戸課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 垣内委員 柏戸課長 | 参加料の高低で参加を判断しているランナーは多いのか。 参加料の大幅な増額は少なからず影響があると考えられるため、必要最小限の増額に留めている。 |
| 垣内委員 | 大会の価値を高める意味も込めて参加料を上げることも検討してはどうか。 |
| 柏戸課長 | ランナーからの意見等も参考に、新たな取り組みとしてコース中での食事の提供やスポーツドリンクの提供を実施するなど、ランナーにとっての価値を高めており、一連の改善や新たな取り組み内容に応じた価格を設定している。都市型マラソンとは必要経費も異なるので、一概に同程度の金額に設定することは難しい。 |
| 前川教育長 | 第39回大会は、大会運営費用の93.46%が参加料で対応した。これは近隣マラソンでは、考えられない数字であり、市民の協力無くしてはあり得ないものである。大会参加料については、朝日放送等関連企業との兼ね合いがあるため設定については十分な協議が必要である。 |
| 前川教育長 | 報告5「全国学校給食甲子園への応募について」学校給食センター説明を求める。 |
| 齊藤所長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 中村委員 | 先進地視察は、今回の応募にどう生かされているのか。また、書類選考時のアピールシートについても視察を通じて情報を得ることはできたか。 |
| 齊藤所長 | 視察研修を行った地域いずれも地場産物の使用にこだわっていた。丹波篠 |

| | |
|----------------------|---|
| <p>井上委員 齊藤所長</p> | <p>山市でも従来から地場産物をできるだけ取り入れていたが、給食甲子園の地場産物の定義は県内産までとなっているので、今回は、丹波篠山市産で賄えない魚やみかん等、県内産食品の使用にこだわった。</p> <p>書類については、見栄えを重視した写真を使用すること、わかりやすく読みやすい文章とすることが意識されていた。応募書類は現在、推敲段階である。</p> <p>天内芋についてアピールしてはどうか。</p> <p>小学生が天内芋の再興に携わったこと等もアピールシートに記載する予定である。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>お箸も含めて、丹波篠山市産及び県内産食品で作ることができるのでそのようなアピールをするのはどうか。</p> |
| <p>垣内委員 齊藤所長</p> | <p>視察先では、応募書類を見ることはできたのか。</p> <p>見せていただいた。アピールシートは文字が見やすいように工夫されており、写真はこだわりを持って撮影されたものを使用されていた。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>丹波篠山市は「農都」を宣言している。給食甲子園は「農都」をアピールする絶好の機会であると考え。農都創造部と連携し、丹波篠山市産の食材が使用できるよう調整してほしい。</p> |
| <p>稲山部長</p> | <p>農都創造部との連携については、今後連携を深めていきたいと考えている。写真撮影用の試食を作った時は市長も来られて、実際に給食も食べられた。書類提出までもう少し時間があるので、文章を推敲し、予選通過できるよう努めたい。</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>報告6「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求める。</p> |
| <p>尾松課長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>中村委員</p> | <p>学校の初動対応は根深いいじめを避けるためにも重要である。教員の迅速な対応をお願いしたい。</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>報告7「令和元年度7月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課説明を求める。</p> |
| <p>大野指導主事</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>学力・生活習慣状況調査で、学力において目標値に達しているが、全国平均と比較すると大幅に低い数値となっている項目があり、目標値に達していてもこれで大丈夫であるのかと不安になる。全国学力状況調査の結果報告時に詳細を協議できればと思う。</p> |

前川教育長

報告8「教育長報告」について報告する。
それでは、第4回定例教育委員会をこれで終了する。